

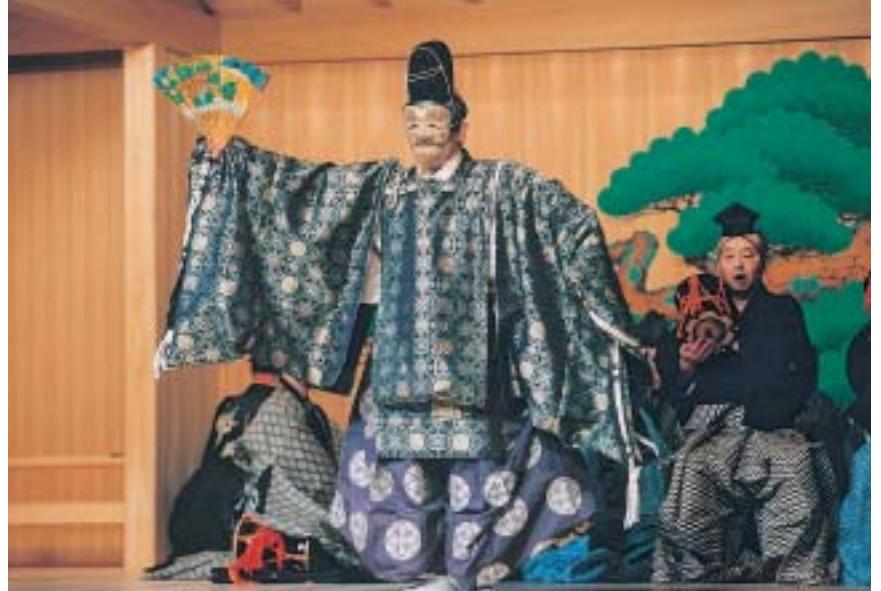
HOSEI
よき師 よき友
つどい結べり

法政 大学 校友連合会報

http://www.hoseinet.com

発行・法政大学校友連合会
発行人 佐伯弘治
編集人 丸岡 孝
〒102-0073 東京都千代田区
九段北3-2-3
法政大学九段校舎内4階
電話 (03) 3264-1831 (代表)
FAX (03) 3264-4770
振替口座 00100-8-89141

新春座談会 進化する法政 時代を先取りする大学改革



能 「翁」
おぎな

天下泰平、国土安穏、五穀豊穣を祈り祝う。祝禱曲。
シテ 金春 安明
撮影 辻井清一郎

世の中ランキングばやりである。何かにつけて順位をつけたがる。大学も例外でなくなってきた。入学者数・財務状況・卒業生の活動状況・入学難易度エトセトラ。週刊誌を始めマスコミでも「大学の格付け」が大流行である。規制緩和・自由競争の当然の成り行きであろう。

評価と言ふからには独りよがりは許されない。公正な第三者の目が必要だ。その点、法政はいち早く

第三者評価委員会」を発足させ、時代の先取りと評判もよい。

そこで今日は、第三者評価委員会のメンバーであるお二人をお招きして「法政」について縦横無尽に語って頂いた。予定をオーバーして2時間半とても全部掲載できないので要約させて頂いた。表現不足の点はお詫び致します。(敬称略)

(丸岡 孝)

新春の楽しみ

司会 日頃は大変お忙しい方ばかりですが、今日は特にやりくりして頂きました。折角の機会ですので忌憚のないご意見を承りました。今回の会報は、卒業生金員に(概算20万人)新年早々に届くことになる。

そこで(今はまだ10月ですが)新年らしい気分になって頂いて(笑)、正月らしい話題から入りたい…。

正月はいつもどんなこと

をお考え、どんな過ごし方をしておられるのか。プライベートな話で恐縮です。

が児玉委員からどうぞ。児玉やはり年を経るに従って1年たつのが非常に早い。従ってどこかで

3年生まれだから、21世紀という節目にも重なっている。私はたまたま19

度立ち止まって振り返った

りすることが必要な気がし

ている。私はたまたま19

歳で、21世紀の日本

いるわけで、21世紀の日本

に語るほどの正月の過ごし

ます。

佐伯 私はお二人のよう

に語るほどの正月の過ごし

方をしていない。このと

ころ毎年、伊豆の下田の木

テルで子供や孫と一緒に

んびり過ごすことにしてい

る。ただ、この夏には社会

でもらえないですね(笑)。

なかなかゆっくり休ませ

しまう。正月も問題山積!

ら、やっぱりモノ

を書くといふことになつて

しまう。正月も問題山積!

ななかなかゆっくり休ませ

てしまう。正月も問題山積!



清成忠男氏

(1面からつづく)
清成 野田一男さん(多摩大学名誉学長)に、こう

いうことをやりますのでお願ひしますと、たたら、君が言うのならいいよ、だけ

が厳しいぞと(笑)。

佐伯 委員の方々が大学を評価される場合の一一番の問題点は、大学の自治と教

授会のあり方の関係、殊に法人の経営権と教授会の役割との線引きが難しい。このところが法的に不分明であるからともすると教

授会の自治の名で権限の逸脱が生じる。第三者の公正な目が必要になる所以です。学生はカスタマーだと

いふことの姿勢に徹して、緊張感のある大学をつくるべき時代にきているので

は…。(編集部注)ここで、大学の経営と組織の権限などについて、東京都立大学、横浜市立大学のケー

スについて、いろいろ話題になつたが、専門的なことなので省略した。

佐伯 一つだけ追加させて頂く。教授会は教学に

関する重要な事項を審議する機関ではあるが、もとより、その決定は直ちに学校法人の意思ではない。また、即

大学の意思でもない。法的

の限界をわざまえることが肝要です。

が、何故そういう改革が必要だったのかということと、その背景などを総括して頂けますか。私学は志願者が少なければ成立しない。志願者数は人口統計からある程度推測できる。日本の現状からみて、いずれ大学経営が大きな転換期を迎えることは前もって分かるわけです。

清成 私学は志願者が少

なければなりません。志願者数は人口統計からある

が、何故そういう改革が必要だったのかと思う。特に、理

科系ですね。実際に私もこ

ど、経過や裏話、内部調

の間、児玉委員と小金井に

伺い、工業部長とコンピュ

ータサイエンスの学部長

にお目にかかりました。非

常に情熱もありになり、これで改革されるとい

うのが実感です。

古賀 正一氏



古賀正一氏

外から見た法政大学

古賀正一氏

司会 明確なビジョンを持

て久しいけれど、法政の場

合、清成総長以下大変な改

革を進めているわけです

古賀 やはり改革のリ

ー

第三者評価委員会

の評議會

謹賀新年

(順不同)

森 田 忠 男 社会学部1956年卒	副会長 社会学部同窓会会长 法政大学校友連合会副会長	小 林 一 久 工学部1958年卒	原 島 榮 一 法学部1966年卒	阿 部 輩 工学部1962年卒	安 藤 文 雄 経済学部1962年卒	木 山 俊 平 法学部1959年卒	河 端 照 孝 経済学部1953年卒	岩 部 金 吾 経済学部1956年卒	加 藤 正 男 工学部1958年卒	三 井 嘉 都 夫 文学部1950年卒	法政大学 文学部同窓会会長 法政大学校友連合会副会長	法政大学 法政大学評議員	中 島 和 晃 法学部1950年卒
鈴 木 俊 昭 経営学部1966年卒	評議員 経営学部同窓会副会長 法政大学評議員	神 沼 邦 彦 経済学部1959年卒	岡 田 安 弘 経済学部1953年卒	伊 藤 隆 司 経済学部1953年卒	畠 山 圭 司 経済学部1953年卒	大 石 勝 康 経済学部1953年卒	山 崎 光 雄 経済学部1958年卒	五 明 公 男 経済学部1965年卒・法学部1968年卒	松 井 幹 夫 法学部1964年卒	増 田 昌 司 経済学部1955年卒	法政大学 法政大学評議員	中 島 和 晃 法学部1950年卒	
西 康 宏 経営学部1979年卒	支部長 岡山支部 法政大学校友連合会	花 本 政 実 経営学部1960年卒	打 越 熱 社会学部1991年卒	内 田 吉 久 経済学部1951年卒・文学部1991年卒	上 口 昌 德 経済学専攻1958年修	佐 々 木 貞 夫 経済学部1962年卒	星 野 次 男 経済学部1952年卒	末 石 恒 夫 経済学部(旧)1951年卒	福 井 支 部 法政大学校友連合会 支部長	武 田 寿 一 経済学部1959年卒	法政大学 八代支部	宮 川 誠 也 経済学部1937年卒	
矢 澤 浩三郎 経済学部1959年卒	副部会長 事業部会 法政大学経済学部同窓会	渡 辺 每 夫 経営学部1956年卒	桑 野 隆治郎 会員団体六角会 法政大学校友連合会総務委員	大 井 巴 喜 彦 社会学部1961年卒	法友スケートクラブ副会長 法友体育連合会常務理事	長 谷 川 光 延 湘南支部 法政大学校友連合会 支部長	星 野 次 男 経済学部1952年卒	法政大学 法政大学校友連合会 支部長	法政大学 法政大学校友連合会 支部長	法政大学 法政大学校友連合会 支部長	法政大学 法政大学校友連合会 支部長	法政大学 法政大学校友連合会 支部長	

愛と勇気と品質の

PRONICS プロニクス株式会社

代表取締役 井上 仁良 (1981年 法・政卒)

本 社 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合144-7
TEL 0774-28-1045 FAX 0774-28-1046Home Page <http://www.pronics.net>

検査測定部:測定データアップサービス

成形部:プラスチック成形<量産>

金型部:プラスチック金型<設計・製作・試作>

健康産業部:メシマコブ販売開始

オンラインにてプロニクスショッピング営業中

業務拡大につき社員大募集!! 新卒・途中入社歓迎します。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

卒業生の皆様方のご健康と校友憲章のもとに集まられた校友連合会の一層の発展を祈念いたします。

2004年1月1日

法政大学後援会〒102-0073 千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎4階 TEL 03(3264) 9350・9392

中野 忠 経游学部1958年卒 法政大学校友連合会 総務委員 中野 忠	矢田 義徳 経游学部1993年卒 法政大学校友連合会 オレンジ同窓会事務局長 矢田 義徳	監事 白勢恵子 法学部1975年卒 法政大学校友連合会 監事 白勢恵子	監事 原田英二 経游学部1952年卒 法政大学校友連合会 監事 原田英二	監事 上島繁廣 経游学部1958年卒 法政大学校友連合会 監事 上島繁廣	広報委員長 丸岡 孝 法学部1958年卒 法政大学校友連合会 広報委員長 丸岡 孝	財務委員長 山田一功 法学部1982年卒 法政大学校友連合会 財務委員長 山田一功	組織委員長 山崎 實 経游学部1955年卒 法政大学校友連合会 組織委員長 山崎 實	千代田支部会員一同 工学部1959年卒 法政大学校友連合会 千代田支部会員一同	佐藤 忠篤 法学部1960年卒 法政大学校友連合会 組織委員 佐藤 忠篤
松本 亞土 経游学部1964年卒 代表取締役 松本 亞土	生川 之雄 経游学部1959年卒 株式会社 RKB毎日ミニージック・システム 代表取締役 生川 之雄	森 勲 経游学部1949年卒 株式会社 森パール 代表取締役 森 勲	手塚 浩之 専商学部1956年卒 株式会社 手塚酒店 代表取締役 手塚 浩之	高根 典文 経游学部1967年卒 財団法人合気会 合気道花見川道場 七道場師範 高根 典文	長谷川 龍雄 経游学部1953年卒 会長兼社長 長谷川 龍雄	垣本 一雄 文学部1978年卒 株式会社 加賀ライズ 代表取締役 垣本 一雄	渡辺 紘崇 経游学部1960年卒 有限会社 京葉庄接 代表取締役 渡辺 紘崇	加藤 肇 経游学部1960年卒 株式会社 アニック 代表取締役 加藤 肇	池端 端孝 経游学部1959年卒 酒井医療株式会社 代表取締役 池端 端孝
松尾 秀文 工学部1976年卒 代表取締役 松尾 秀文	後藤 紘志 経游学部1966年卒 法政大学経営学部同窓会副会長 設立総会 日本を動かす政治家集団の結成 いざ集わん、オレンジ色の旗の下! (これから政治家を志す人もご参加ください) 設立総会 日時 平成十六年二月十四日18時より 場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 会費 八〇〇〇円 法政大学全国地方議員の会設立準備会 連絡先 TEL 03-5718-7575 FAX 03-5718-7576 大西光広	服部 勝人 経游学部1966年卒 法政大学校友連合会 法政大学法学院同窓会常任理事 会長今井正七 法政大学法学院同窓会財務委員会 会長今井正七	後藤 紘志 経游学部1964年卒 法政大学法学院同窓会常任理事 会長今井正七	森 實貴幸 経游学部1942年卒 泰平印刷株式会社 代表取締役 森 實貴幸	柳澤 千昭 経游学部1952年卒 弁護士柳澤千昭 代表取締役 柳澤 千昭	榎本 靖朗 経游学部1960年卒 双葉計器工業株式会社 代表取締役 榎本 靖朗	遠藤 隆三 経游学部1960年卒 株式会社セントラル・エージェンシー 代表取締役 遠藤 隆三	岡山 孝也 経游学部1970年卒 日本料理割烹 吉野 店主 岡山 孝也	司法書士 松嶋晃正 法学部1969年卒 松嶋司法書士事務所

法政大学経営者懇談会
HOSEI UNIVERSITY PRESIDENT CLUB



会長 小佐野 文雄
日本ハウズイング(株)代表取締役社長

新規入会者を募集しています
法政大学卒業生の企業等経営者の会です
入会ご希望の方には案内書をお送りします
事務局までご連絡ください

ホームページ <http://www.scej.net/president/>
本部事務局
〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2
TEL&FAX.042-387-6163
御法川 学
日本ペンチャー学会(会長清成忠男法政大学総長)法人会員

PILOT
Quality Writing Instruments Since 1918



「書く文化」を、次代に伝えるために。
文字を書くことは、よく考えることである。
自分を見つめることであり、他の人を思いやることである。
その意味で、「書く」ことは、最も人間的な営みのひとつであり、「文化」の根幹であると言えます。
パイロットは、商品づくりを通じて、
我が国のみならず、広く世界の
「書く文化」の礎でありたいと思っています。
代表取締役社長 高橋 清

株式会社パイロットコーポレーション
〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21
TEL. 03-3538-3700(代表) <http://www.pilot.co.jp>



法政とともに40年…

想 随
Kさん、明けましておめでとうございます。年賀に託けて久しぶりにお便りします。最近、多忙を口実にお便りすることが出来ませんでした。柄にも無く申すのですが、私の人生では珍しく、仕事の上で為さねばならぬというような切迫感を負っている昨今です。



「心の友、Kさんへ」

法政大学常務理事 平林 千牧

Kさん、明けましておめでとうございます。年賀に託けて久しぶりにお便りします。最近、多忙を口実にお便りすることが出来ませんでした。柄にも無く申すのですが、私の人生では珍しく、仕事の上で為さねばならぬというような切迫感を負っている昨今です。

激しい時代ですが、同時に大きなチャンスの時代であります。長嶋さんは表現すれば、「ビジネスティング」ということになります。私学のトップを目指すKさんも運命としか言いよう。運命としか言ひませんが、長い人生では珍しく、仕事の上で為さねばならぬというような切迫感を負っている昨今です。

法政の誇る研究所紹介③

沖縄文化研究所

このことは、Kさんに、君には似合わぬ信条だと思います。私はその要因を端的に絞り2点にしている

のですが、この絞り方にしましてはKさんと意見を異にします。確かに私は、その要因についても、自分の人生を授けてくれたものに何かを捧げて終えるべきと考えました。

私は、自分に生きるすべを与えたものに、つまり、20歳から46年を超える人生を授けてくれたものに何かを捧げて終えるべきと考えました。

うもなく巡り合えた恩師内と外との単なる二分法間母校を見続けてきました。Kさんは外からいわゆる天界で心顔ながら賛意を示してくれていると思います。

大学と一体となって、卒業生が社会に出でからの活躍

を実現するため、卒業生名簿を整備していきました。

他方、多忙の要因については、Kさんも同意して

てくれていますが、日本によって生きる術として

対応する大学の生き残りを実現するため、卒業生名簿を整備していきました。

200余人／オール法政新

年を祝う会（平成15年1月

内と外との単なる二分法間母校を見続けてきました。Kさんは外からいわゆる天界で心顔ながら賛意を示してくれていると思います。

大学と一体となって、卒業生が社会に出でからの活躍

を実現するため、卒業生名簿を整備していきました。

他方、多忙の要因については、Kさんも同意して

てくれていますが、日本によって生きる術として

対応する大学の生き残りを実現するため、卒業生名簿を整備していきました。

200余人／オール法政新

卒業生評議員制度大幅見直し

|| 選挙からすいせんへ ||

法政大学理事会は、現行の卒業生評議員選挙制度の問題を検討し、根本的に見直すことを決定した。

現行制度の問題

全卒業生約30万人のうち、住所判明者約20万人を選挙人とした現行制度は、2002年2月の選挙で3回目になるが、回を重ねる度に投票率が低くなるという現実であった。その結果、数100票で評議員に当選するという現状は全卒業生の意図を反映させる選挙としては甚だ問題である。

更に重要な問題点、現行選挙方式には、公職選挙法のよつて「法的規則」が伴わないことであり、また、同窓会、校友会、運動部組織などの支援団体がないと当選にくい構造になつて

いることである。また、選挙に要する経費があまりにもかかり過ぎていることも問題である。

卒業生評議員推薦規則そこで、理事会は卒業生評議員の選出をこれまでの選挙方式から、選考委員会

選考委員会の構成

評議員候補者28人を推薦させ、これを理事長が選任する。

この規則は、2003年7月23日から施行し、2005年4月1日から就任する卒業生評議員の推薦から適用する。

理事会は法人内に「選考委員会」を設置し、一定の評議員候補者28人を推薦させ、これを理事長が選任する。

この規則は、3号評議員の中から3名校友連合会を代表する者1名による推薦方式に改めることにした。

◎理事会決定の要点

理事会は法人内に「選考委員会」を設置し、一定の評議員候補者28人を推薦させ、これを理事長が選任する。

この規則は、3号評議員の中から3名校友連合会を代表する者1名による推薦方式に改めることにした。

◎理事会決定の要点

理事会は法人内に「選考委員会」を設置し、一定の評議員候補者28人を推薦させ、これを理事長が選任する。

この書は、大内元総理が、若い学生への心からメッセージとして書かれたものと思える。

この書は、大内元総理が、若い学生への心からメッセージとして書かれたものと思える。

この書は、大内元総理が、若い学生への心からメッセージとして書かれたものと思える。

昨年10月の下旬、駅伝予選会で我が法政チームがトップでゴールし話題になっている。どうやら本番でも台風の目になりそうであるところがこの会報、11月が編集のピーク。今時も「正月駅伝」を占つて貰うこととした。白羽の矢を立てられた当人は迷惑だろうが、ガマンして貰うこととした。当たる! 当たらない?は神のみぞ知る。吉と出たらまずは乾杯! そうでなかつたら来年のためにもう一度乾杯!

スの直前である。記事にしたいが出られないもどかしさ! そこで苦肉の策。今時も「正月駅伝」を占つて貰うこととした。白羽の矢を立てられた当人は迷惑だろうが、ガマンして貰うこととした。当たる! 当たらない?は神のみぞ知る。吉と出たらまずは乾杯! そうでなかつたら来年のためにもう一度乾杯!

さて、占いはいかに?

駅伝の応援を一生懸命やっているが野球の私に

順位予想は難しい。しかし、敢えて言えば5位、悪くて

も来年に期待して末広がり

の8位。エース黒田を矢印

シリ応援団が後押しする。

本番では有望選手が突然現れるかもしれない? 選手

よがんばれ! 5位になつて

くれ! 正月のおトソが10倍ワマくなる。

法政の駅伝は永久に不滅。夢の続きを

現れるかもしれない? 選手</

最近の人気講座から

「生涯学習」熱が高く、
文化・教養、資格講座
と多彩。

最近の公開講座の受講者の傾向は、ライフプランとして、自身の文化・教養を身に付けたいという受講者が多い。

このエクステンション・カレッジでの人気講座は、「大人のための古典文学」、「古文書講座」などである。

この講座の内容をみると、『万葉集』『源氏物語』などの古典文学、旗本家の『年中行事を読む』、「八王子千人同心」などがある。講師陣は、ほとんどが法政大学の教授または卒業生である。受講者は、50~60代の人が多い、中には80代の人もいる。

学生に眼を向けると、資格ものに人気がある。これは、国家試験実施(10月13日)の関係で春期のみの開講だが、「一般旅行業務取扱主任者資格講座」である。定員40人のところ、50人の応募があった。

学生自身も、国際化の

エクステンション
カレッジ

時代を生き抜くために英語力をつけるのに懸命である。この講座の超人気講座に「毎日学べる英会話」がある。週5回(月~金)、年間20週、100回のレッスンで、講師は全てネイティブスピーカーである。

この講座の受講者数は、市ヶ谷キャンパス470人、多摩キャンパス232人という人気であり、ドロップ・アウトする学生も少ないという。

学生の中にエクステンション・カレッジの認知度も高まっている。

以上の他にも各キャンパスでいくつかの公開講座を行っている。

受講の問い合わせ先
〒120-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学エクステンション・カレッジ
☎03-5261-5104
FAX03-5261-5106
E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

☎03-5261-5104

FAX03-5261-5106

E-mail: help@hosei.ac.jp

受講の問い合わせ先

〒120-8160 東京都千代

田区富士見2-17-1

法政大学エクステンショ

ン・カレッジ

